



「言語能力をはぐくむモデル校」SE 通信

つながい

6月号

研究授業を行いました

6月4日(木)の5・6時間目に全学年で国語の研究授業を行いました。当日は、京都女子大学の水戸部修治教授を講師にお招きし、ご指導をいただきました。

参観後には、モデル動画の撮影方法や教室掲示の工夫、子どもたちの思考を見取る手立てや効果的な声かけについて、写真や動画を交えて具体的にご助言をいただきました。先生の示唆に富んだご指導により、言語能力をはぐくむための授業改善への見通しがより鮮明になりました。



各学年の取り組み【低学年】

1年生は、花の開く様子を順序立てて説明する言語活動を行いました。20種類の開花動画から1つ選び、ワークシートに「つぼみのようす・開き方・花のようす」をまとめました。最終ゴールとして、保幼小連絡会に来てくださった先生方に発表しました。「分かりやすくまとめられているね。」と、褒めていただき、子どもたちは達成感に満ちた表情でした。

1年生「つぼみ」

2年生は、『スイミー』の作者である、レオ＝レオニ作品を読み、あらすじと、お気に入りの一文とその理由をまとめ、一文に合う絵をかきました。完成した作品で「レオ＝レオニ展」を開催し、お互いの好きな場面を交流しました。

「一文を気に入った理由がわたしと一緒だ!」「分かりやすくあらすじを書いているね。」とお互いの読みを交流しながら、物語の世界にどっぷりと浸かることができました。



2年生「スイミー」

3年生は、『まいごのかぎ』の学習を通して、「心に残った一文」「キャッチコピー」「名場面の絵」を組み合わせた「名場面ポスター」を作成しました。

初めはキャッチコピーの作成に苦戦していましたが、グループでの話し合いを通して、魅力的な一文にするコツをお互いに発見していきました。登場人物や周囲のものの気持ちを深く想像しながら、物語の世界を存分に楽しみました。



3年生「まいごのかぎ」